

3月号
平成24年
3月2日(金)
発行



宜野座村教育委員会通信

やまびこ

宜野座村教育委員会
学校教育課
発行責任者
呉屋 江山

～ 早寝 早起き 朝ごはん あいさつ ～

本年度の各学校行事も残りわずかになりました。中学校では、3月7日(水)・8日(木)の高校入試を控え、子どもたちは受験勉強に向け最後の追い込みをしているところです。さらには、10日(土)の卒業式・14日(水)の高校合格発表と慌ただしく行事が続きます。一方、小学校では、現学年の学習内容をしっかり身に付け、進級させるための補習を行う等教職員が一丸となり、子どもたちへの教育を全力で取り組んでいるところです。

そこで、3月の教育委員会通信「やまびこ」は、各学校の本年度のまとめや現状及び学習状況・子どもたちの活動様子等について取り上げ紹介したいと思います。

「新生」宜野座中学校の風景



約2年6か月かかった宜野座中学校の校舍改築工事、外構工事が終了しました。卒業生のほとんどが記憶に残っているのは13本松だけになりました。新生宜野座中学校の新しい出発の年となります。現在宜野座中学校は、1年生男子が今年になってとても態度がよくなっています。2年生はとても落ち着いた学年で、団結力があり、次年度のリーダー学年としての意識も高まっています。3年生は高校入試を目前に、冬休みから3年の職員、支援員・サポーターを中心に毎日補習に頑張っています。「がんばろう、新生宜野座中学校」

笑顔の世界へとどけよう！



漢那小学校

2月5日(日)に平成23年度漢那小学校・幼稚園の学芸会が宜野座村文化センターがらまんホールで行われました。「漢那っ子力を合わせ 笑顔の世界へとどけよう！」の児童会テーマのもと、5年生の三線の幕開けから、幼稚園の「獅子舞」・1年生の「キラキラ星」・2年生の「舞踊劇」・3年生の「創作ダンス」・4年生の「郷土劇・儀間真常」・6年生の「劇・西遊記」と各学年の元気・笑顔いっぱい演技が繰り広げられ、会場を埋めつくしたお客さんから大きな拍手が贈られました。

今年も届いた1トンの雪..



宜野座小学校

今年も、北海道富良野市の扇山小学校から1トンの雪が届きました。10kgずつ100箱に梱包されたさらさらの真っ白な雪の中には、扇山小学校のお友達からのお手紙がビニールに包まれて入っていました。冷たい雪の中に手を入れて取り出したお手紙には温かいメッセージがたくさん詰まっています。扇山小のお友達の宜野座小への思いが伝わりました。近隣の幼稚園や保育へもお裾分けしたあと、各学級に配付された雪は造形コンテストやそり遊びなどを通して全児童でおもいっきり楽しむことができました。温かい沖縄での雪遊びは短い時間でしたがとても貴重な機会となりました。



松田小学校

「5年生・本部大主のワンシーン」
感動：地域とともに創造する学芸会！
「咲かそう笑顔の花
とどけよう最高のステージ」

2月5日(日)松田小では学芸会が行われました。当日、会場となった体育館では、300人前後の保護者や地域の方々の方が会場にかけつけ熱気に包まれ、どの学年も日頃の学習の成果を舞台上で披露しました。幼稚園児はオペレッタ「カエルの合唱」、1年生はダンス「おまつりにんじゃ」、3年生は松田区の伝統芸能「舞方・谷茶前」、4年生は合唱奏「絆メドレー」を熱唱、5年生は組踊り「本部大主」、6年生は劇「さとうきびの花ゆれて」を堂々演じました。中でも3年生には区長さんが直々に踊り「舞方」を指導、5年の組踊り「本部大主」も沢山の関係者の方々が指導にご尽力を下さいました。まさに地域とともに創りあげた舞台であり、スローガンのように、子ども達の熱い思いや笑顔の花が、舞台いっぱい咲く最高のステージとなりました。